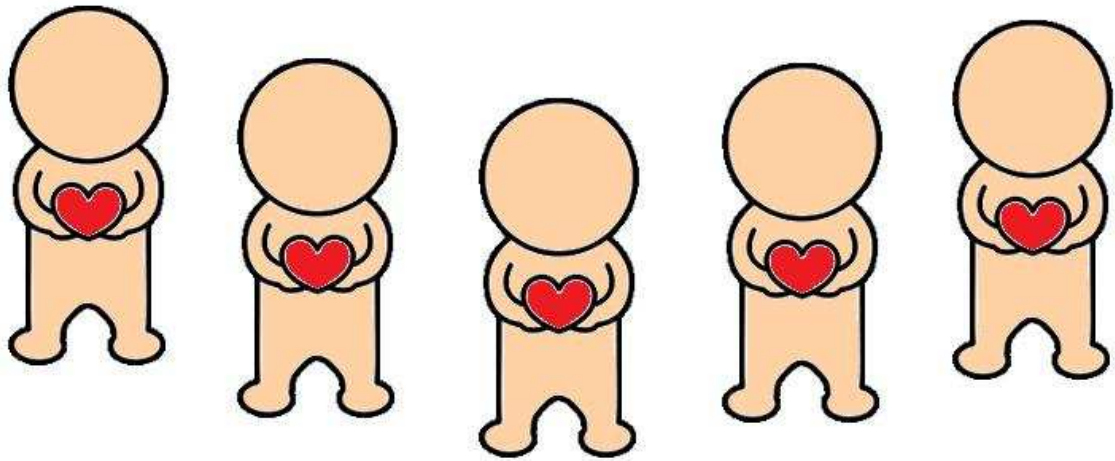


想いが叶う5つの連鎖



石丸弘・三枝優子 共著

《著作権について》

本書は著作権法で保護されている著作物です。
本書の取り扱いには以下の点にご注意ください。

本書の著作権は、IDEA PLANET（以下、乙と称す）に属します。
本書の開封を以て、下記事項に同意したものとみなします。

◇乙に許可無く、本書の一部または全部をあらゆるデータ蓄積手段（印刷物、電子ファイル、ビデオ、テープレコーダー等）により、複製、流用及び転載、転売（オークション含む）する事を禁じます。

◇著作権等の違反行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償を行うなど、民事・刑事を問わず、法的手段による解決を行う場合があります。

◇本書に書かれた情報は、作成時点での著者の見解です。
著者は事前の許可を得ずに誤りの修正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

◇このテキスト作成には万全を期しておりますが、万が一誤り、不正確な情報がありましても、乙が一切の責任を負わないことをご了承願います。

◇本書を利用することにより生じたいかなる結果につきましても、乙が一切の責任を負わないことをご了承願います。

◇はじめに

まずはこの本に興味を持っていただき、ありがとうございます。

あなたのその想いに感動している石丸&三枝です。

今回の書籍は、

想いはあるけれど、

- ・こんな想いなんて叶うわけない
- ・私ごときがそんなことできるわけない
- ・動いているのだけどなぜか空回り・・・

そんな想いを抱いている方に向けて書きました。

この本がきっかけで、

- ・どんどん応援される自分になる。
- ・自分の想いは間違ってたなかつた！
- ・これなら想いは叶っちゃう！

と自信に満ちてそれぞれの想いが叶う。

そんなサポートに少しでもなればという僕達の想いから、
仲間の優ちゃんと一緒に作成しました。

あなたの想いが叶いますように。

《目次》

- ◇著作権について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- ◇はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- ◇第1章 「想い」・・・・・・・・・・・・・・・・

 - コラム1：想いの漢字の語源
 - コラム2：何をするかより、何故やるか？
 - コラム3：叶える

- ◇第2章 「考え方」・・・・・・・・

 - コラム4：クレドを持とう

- ◇第3章 「さあ行動しよう」・・・・・・・・

 - コラム5：なりたいなら、なるしかない

- ◇終わりに・・・・・・・・
- 付録・・・・・・・・
- ◇著者プロフィール・・・・・・・・

第1章 「想い」

◆想ってそもそも何？

じゃあ、そもそもその想ってなんでしょうね？

例えば

1. Aさんは、超お金持ちになりたい！
2. Bさんは、病気の母の手助けをしたい。

どっちが「想い」な感じがしますか？

え、2ですか？

実は・・・

これだけじゃわからないのです。イヂワルな質問でごめんなさい[^]
^ ;

次のストーリーを読んでもう一度考えてみてください。

1. Aさんは、超お金持ちになりたい！

Aさんは、超お金持ちになりたいって夢を持っています。なぜか？
自分の家はずっと貧乏で、でも親はそんなことを感じさせないように
毎日努力をしていました。朝早くから夜遅くまで働いて、大学まで
通わせてくれました。後で知ったのですが、
だから、僕は早くお金持ちになって、両親を楽にしてあげたいのです。
それがせめてもの僕の恩返しだと思っています。

2. Bさんは、病気の母の手助けをしたい。

Bさんは、ニートでした、毎日母親にご飯を作らせ、働かせ、自分は仕事を探すこともせずにネットゲームにはまっています。最近母が、体調を崩してしまったのでしかたなく自炊をしたり、母の手助けを少ししたりするようになりました。でも理由は簡単で、早く元気になってもらってまた自分が楽をしたいからだそうです。

と、自分で書いていて、Bさんの考え方には寂しさを感じてなりません、、、

改めてどちらが「想い」な感じでしょうか？

僕はAさんの方を「想い」と定義しています。

なぜなら、自分がやりたいことの先に自分以外の誰かの幸せも入っているから。

想いとは自分以外の誰かの幸せも含まれた夢のことである。

《コラム1：想いの漢字の語源》

この本では、一貫して、“思い”、ではなく、“想い”、という字を使っています。

その僕のこだわりはこの文字の成り立ちを知ったからです。

アート書道家の本田蒼風さんから昔聞いた話しです。

本田さんは言いました。想いという字はね、木を見ている人がいて、わあ、なんてこの木は素敵なんだろう！！って感激して、そして誰かに伝えたい！という心を表しているんですよ。

僕はそれを聞いて、誰かに伝えたくなる心、そうだよなあとしみじみ感じました。

◆応援される想いに変換する。

想いの定義を聞いて、あ、やっぱり僕の夢や想いはこれでいいんだ！って思えた方。ありがとうございます。その想いはきっと叶います。そして、それは自分も含めて誰かを幸せにしていきます。ぜひぜひ自信をもって歩いてください！

逆に、あ、僕の想いって違ったかも。。。

そう思われた方、チャンスです（笑

その「想い違い」ほんとうは素敵な想いかもしれませんよ^^。

ただ自分で気がついていないだけかもしれません。

ここでは、あなたの想いを、本当の想いに変える、魔法の質問をお伝えしたいと思います。

それはとってもシンプルな質問

「その夢や想いが叶った先には、どんな素敵な社会や世界が広がりますか？」

この質問をじっくりと考えてみてください。

例えば

お金持ちになりたい！

最初はそういう夢かもしれませんが、でも自分に

「その夢や想いが叶った先にはどんな素敵な社会や世界が広がりますか？」

って聞いてみます。するとこんな答えが自分の中で産まれるかもしれません。

* * *

なんで、お金持ちになりたいって思ったのだっけ？

えっと確か、昔、僕は平和な世界を願って、いろいろと勉強していた世界の歴史、経済、政治、日本のこと。そうだ、それで世界で戦争がなかった日はなくて、今では毎年戦争に100兆円以上が使われているって知ったのだ。

そのときは絶望したけど、ある時思ったのだ、そうだ、超超、お金持ちになって毎年100兆円以上戦争で使われるお金の流れをえてしまおう！そうしたら、戦争のない世界になるのじゃないかな。

だから僕がお金持ちになれば、きっと世界から戦争がなくなってそして戦争で傷つく人がいなくなる。
そしたら、今よりもっと悲しいニュースも減るじゃないか。
だから僕はお金持ちになりたかったんだ。

* * *

馬鹿な夢と思ったかもしれませんが。でも彼は少しずつでもそれを実現しているように僕は感じています。

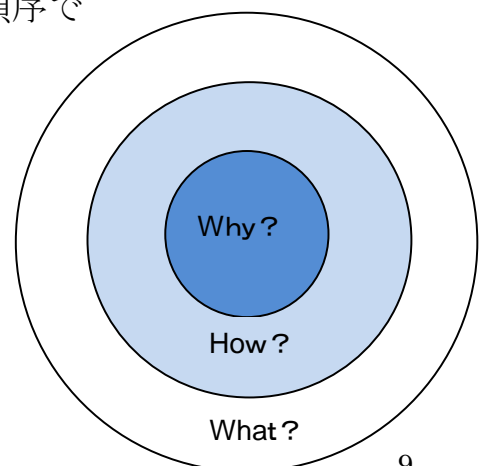
あなたの思い、その先にある素敵な世界をぜひぜひ描いてみてくださいね^^。

《コラム2：何をするかより、何故やるか？》

「何をするかより、何故やるか？」想いを叶える人たちは、これを大切にしています。

みなさんは、サイモンシネックのゴールデンサークルをご存知ですか？

右の図に記したように、Why→How→What の順序で記したものをサイモンシネックはゴールデンサークルと呼んでいます。



「人は何をではなく、何故に動かされる」

普通の人は何をやっていて、それがどうなっているのか話を進めていきます。しかし、肝心の「何故」の部分を読らない場合が多い。

想いを叶える人は、一番外側の「何を」の部分より、「何故」から想いを伝えることを大切にしています。

なぜなら、人は何故に動かされるからです。

たとえば、アップルのスティーブジョブズの場合。

「我々のすることはすべて、世界を変えるという信念で行っています。

違う考え方に価値があると信じています。

私たちが世界を変える手段は、美しくデザインされ簡単に使えて親しみやすい製品です。

こうして、素晴らしいコンピューターが出来上がりました。」

ジョブズはただコンピューターをつくっているのではなく、「世の中を変える」ためにつくっていると述べています。

そんなジョブズの『想い』があるからこそ、アップルは多くのファンから愛され、亡くなった今でも絶大なる人気があることは、言うまでもないでしょう。

「あなたは何故、今の想いを叶えたいと思ったのですか？」

一度自分に問いかけてみてください。

◆二人目のバカがいた。

さて、あなたの想いは素敵に輝きはじめたのではないのでしょうか？
え？まだ自信がもてない？

そうしたら次はこんなお話をしたいと思います。

二人目のバカを探せ（笑

もし、あなたの夢や想いが、自分だけではなく、他の人の幸せを願い、それが含まれているのであれば十分に応援されるに値します。世界中のどこかに、必ず応援者が存在しています。

こんな馬鹿みたいな夢なんて・・・そう思ったら。まずは

こちらの動画を見て下さい。

http://www.ted.com/talks/lang/ja/derek_sivers_how_to_start_a_movement.html

いかがでしたか？

二人目のバカがどれほど大切なのか感じる事ができたのではないのでしょうか？（笑

冗談はさておき、つまりは、あなたの想いに共感してくれる最初の一人に出会うことが本当に大切なのです。

その大切な人は親友かもしれません。家族かもしれません。
新しくであったら知人かもしれません。
誰だって大丈夫です。

まずは、この人なら否定せずに聞いてくれるかな？

そう思うひとを選んで、自分の想いを伝えてみてください。

誰に話すかはとてもとても大切です。

だって、最初から、想いを伝えて

- ・え、そんなの叶うわけないじゃん。
- ・それより仕事がんばりなよ・・・

と言われちゃったら僕は凹んじゃいます（笑

だから、安心して話せる人。否定しないだろうな~と思える人にまずは話してみてください。

え？周りに誰もいない？

そしたら、僕にメール下さい（笑

→ hiro.mosmos.jp@gmail.com

（件名：私の思い）

僕たちはどんな思いも本当に素敵で価値があり尊いものだと日々感じています。

いくつ想いを聞いたか数えきれませんが、いいね！と思わなかったことは一度もありません^^

例えば

・ミャンマーに菜園とクリニックを立てたい。ミャンマーが好きでその人達が幸せになったら嬉しいから。

→ すごく素敵ですよ^^

・カンボジアに孤児院を建てたい、現地の子どもと一緒に笑顔が増える活動をしたいから

→ 最高です^^

・お金持ちになってお母さんを幸せにしたい。

→心温まります^^

・世界って何か変！そう思う人が対話する場を創りたい。そうすることできっと世界は少しずつでも良くなっていくから。

→嬉しすぎます^^。

・絵を通じて世界中なかよしを実現したい。

→応援したくてたまらないです。

自分が、大きくすぎると感じて、こんなちっぽけなことと感
じても構いません。どちらも十分に素敵だと僕は思うのです。
必要なら、僕があなたの想いに対して 2 番目のバカになりますので、
安心してください（笑

◆さあ伝えよう

もう一人共感してくれる人も現れた。それはつまりひとりよがりではなく、伝える価値がある想い。

実現する価値のある想いということです。

そしたら、もっともっと多くの人に伝えていっていきましょう^^。

最初は安心出来る人から、少しずつ始めて合った人などにも、自分サイズで大丈夫です。伝える範囲を広げていっていきましょう。

気がつけば、きっとあなたの想いの応援団ができていますはずですよ^。

◆まずは世の為、その次に自我

最後に大切なポイントを、それは、自分の欲望と周りへの願いや希望のバランスをとるということです。

例えば、お金持ちになりたいんです！なぜなら贅沢三昧して、車かって家を買って、メイドさんをやとって楽しく暮らしたいのです。

と言われても、
はいはい、どうぞ勝手に私は思います（笑

だからといって
いえ、もう僕の話はどうなってもいいんです、腹が減ったらパンの耳の生活でいいんです、世界が良くなるためならそんなことはどうでもいいんです。

と言われても、それはそれで

いやあ、少しはまともな生活してください><って思います。

つまり、そのバランスが大切なのです。

自分も世界もよくあるように、そしてちょっとだけ世界のことに目がいつているぐらいがちょうどいいのかなと、今まで人の想いを聞き続けて、そして叶ったり、失敗している様をみながら感じています。

◆あなたの想いは応援するに値する

で、僕は本当の意味では自分のことだけ考えている人はいないと考えています。さきほどの、ニートの人の例もそうですが、心の底では、そんな自分が嫌いでもどうにもできなくて開き直っているだけかもしれないと思ってしまうのです。

そして、そうした心が癒されたり立ち直ったりするのだと信じています。そしてそんな立ち直った人はどうなるか？同じような人への想いが芽生えて、できることをしたいと思うのではないのでしょうか？

立ち直った経験がある方ならわかると思いますが、いじめや、うつ、DV、障がい、貧乏、いろんな辛いことから立ち直った時、周りを見て同じような人がいたら手を差し伸べたくならないのでしょうか？

僕は、人の可能性を信じています。

何が伝えたいのか？というと

あなたの想いは素晴らしいし応援される価値がある。今はないと

感じていても、価値のあるものに変化していける。そう確信してやまないのです。

《コラム3：叶える》

「叶う」という字は、「口」と「十」と書きます。

想いを叶えたければ、字のごとく、まずは口に出すこと。

口に出さなければ、想いは伝わりません。

実際に相手に伝えることで、想いがよりブラッシュアップされ、協力者たちも増やすことができるでしょう。

また、ソーシャルメディアが発達した現代、ブログやFacebook、YouTube など、ありとあらゆるツールを活用して想いを伝えることも、重要になってきます。

様々な方法で想いを伝えていきましょう。

第2章 考え方

この章では想いを叶えている人が持っている考え方をお伝えできたらと思っています。ご自身にピンと来るものがあつたらぜひとも試していただけたらと思います。

◆本気

僕が今までご支援させていただいている団体さんや個人の方はみなさん本気でした。

例えばミャンマーに菜園とクリニックを建て運営できるようにしていきたい、と想いを持っている元国境なき医師団の常務理事の名知さんもその一人です。

彼女はその想いを胸に全国を講演して歩き、2年で200万円の寄付を自力で集めています。今では応援者によってNPO化が目前に控え、事務局など本気で動いてくれる人達が20人以上彼女の周りにいます。

また、五井平和財団の西園寺由佳さんは、平和な世界が広がるように、できることはなんでもやろうと、いくつものプロジェクトを立ちあげています。彼女も常に本気で生きています。

オトナノセナカの代表のめぐみさんは、本当の保育のできる保育士を育てたい、そのためにはなんだってやりたい。パパママに、こんなにすばらしい保育方法って沢山あるのだよ！って伝えたいと本気で思っています。

8月にはじめて300人規模でイベントも考えてちやくちやくとチームができていて、話が進んでいます。

みなさん、本気で想いのために動いています。

ここで、わあ～、私そこまで本気じゃないかも・・・

と思った方いるかもしれません。

でも大丈夫です。本気というのはそんなに難しいことではないのです。

本気というのは、「**本当の気持ち**」ということなのです。

自分がやりたい想いが、本当の気持ちから発しているのであれば、それはすでに本気なのです。自分の行動量や質とはまったく関係ありません。

人と比べなくても大丈夫です。本当の気持ちさえあれば、あとは自分サイズで進んでいったらいいのです。

大切なのは、あなたの「本当の気持ち」なのです。

◆やれることをやる。

本当のシンプルなことですが、みなさん、やれることをやっています。オトナノセナカのめぐちゃんは、イベントを立ちあげるのが得意です。だから300人のイベントだったらやったことないけどいけるかも！

と違ってやっています。

パパママに、こんなにすばらしい保育方法って沢山あるんだよ！って伝える方法は何もイベントだけじゃありません。

小冊子だってブログだってHPだって書籍だって映像だっていろんな方法があります。でも彼女はイベントを選んでいきます。

やれることをやっているのです。

他の人の事例をみて、自分にはそれはできない・・・

そう思ってあきらめないでください。あなたにもやれることが必ずありますから。

ぜひ自分サイズのやれることを探してみてください^^。

◆あきらめない・チャレンジ精神がある。

ミャンマーに菜園とクリニックを建てたいと思っている名知さんはあきらめません。

最初はクリニックだけの建設を考えていました。

なぜなら国境なき医師団時代に何度もミャンマーに行っては簡単な薬で治るはずの病気が、薬代が出ないからという理由で治せない状況に何度もあっていたから。

もちろんミャンマーが大好きになっていた名知さんはなんとかしたいと、まずはクリニックを立てるという思いから動き始めたのです。

でも調べれば調べるほど状況は絶望的でした。

クリニックを立てたところで、病気の原因が栄養失調だとわかってきたからです。治療しても、また自宅に戻ったら栄養状態がよくないため、結局クリニックに戻ってきてしまうのです。

でも彼女はあきらめません。

なんとか方法を考えて、人に相談し、とにかくあきらめずに進んでいました。

あるとき、日本で農業を教えている先生と出会い解決先が繋がったのです。そうだ、ミャンマーの人達が自分で栄養状態を改善できるように農業をちゃんと伝えて出来るようにしてあげたらいいんだ。

プロジェクトは、ミャンマーの菜園とクリニックを建設して運営するという方向に変わって行きました。

どんな絶望的な状況出会っても、解決方法をあきらめずに探し続ける。そしてやれることをやりつづけることが、とても大切だと僕は感じています。

◆長い目でみている。

うまく広がっている、と思う団体はすぐに結果をだそうとせずに待つ、長い目で見るということができていると感じています。

例えば、音楽×イベント×社会貢献というテーマで活動している
NPO 法人ブラストビート

この団体もとても面白いんです。

チャレンジしたいのだけど、起業したいのだけど勇気が足りない。
そんな人達にむけて

- ・最初の一步を提供
- ・その人がチャレンジし続けられる人へ成長する仕組み
- ・支援者も自然と集まる仕組み
- ・上記全てが無料で参加できる

そんなすごいサービスなのです。

やっていることはシンプル、参加者はいくつかのチームに別れて、それぞれで擬似会社を立ちあげ、音楽イベントを一度開催します。
その収益の25%は社会問題解決のために寄付されます。

そのなかで人として成長出来る仕組みが沢山組み込まれているのです。

この団体の代表は長い目でみています。

例えば、全国にある支部のリーダーの一人にたいして、相手が成長できるように、自分がやればあつというまにできることも、その人ができるようになるまで、手を出しすぎずじっと待ちます。

それは自分がやるよりもその人の成長を待つほうがずっと大切だとわかっているから。

◆都度修正、都度修正

本当に叶えたいもののために必要なだけ都度修正をしていく姿勢に

私はよく出会っています。

例えば、「わーぷ」という団体さんがいます。

※わーぷ

WRP=We have Responsibility and Power

(<http://wrp-network.jimdo.com/>)

今は、世の中ってなんか変じゃない？そう思う人達が対話する場づくりと、本当の情報の発信、そして関わるメンバーの関心のあるプロジェクトを支援する流れが生まれています。

「わーぷ」もまた、一人の想いから生まれています。

その想いは凝縮されてこんな一通の手紙になりました。

* * *

ある本を読んだことを一つのきっかけとして、本気でよりよい社会実現のために行動したいという想いがとても強くなりました。

3.11 体験によって私は、東京の豊かな暮らしのリスクを福島に押し付けていた現実を体感しました。また「今」の自分の豊かな暮らしのために、孫、ひ孫が豊かに暮らすための土壌を傷つけていることも体感しました。

これと同じ構造がいたるところにあります。

自分さえよければよい、うちの会社さえよければよい、日本さえよければよい。今さえよければよい。

この、社会的視野の偏狭さが、様々な問題を生み出していると思いますし、私達にはシステムシンキングという素晴らしい解決方法

が既に提示されていると思います。

私は、日本だけが豊かな世界よりも、世界中が豊かな世界を望みます。

現代だけが幸せな世界よりも、子も孫もひ孫も子々孫々が幸せな世界を望みます。

それを実現していくことのベースには

「私には責任がある」ということと「私にはそれを実現する力がある」ということがとても大事になると考えました。

それで会の名称を WRP : We have Responsibility and Power としようと考えました。

まずは日本の民主主義政治を成熟させていきたいと思っています。

私たちは個人・家庭人・職業人・市民という側面があると考えまして、

今はあまりにも「市民」という面を現代人は生きていないのではないか、という問題意識があります。

他の3つの側面も全て大切にしつつ、市民という側面を、実生活の中に組み込んで生きていきたい。それが、この会を発足したいと思った大きな理由の一つです。

素晴らしい政治家の不在を嘆くのではなく、

市民として自分たちが責任を持って、エネルギー政策を考え、経済政策を考え、防衛政策を考え、実行していく。

そういう人々が増えていけば、世界はよりより世界を出現させていくと思うのです。

幸いなことに既に、世界には時間的・空間的広がり・つながりを大切にした成功事例がたくさん出てきています。グラミン銀行やTable for

Two、パタゴニアなどが推進しているフェアトレードなど、すでに素晴らしい事例があります。

これは私たちにとっては大きな勇気になると思います。

具体的に何をテーマに取り上げ研究・発信・実践をしていくかについては、みなさんとアイデアを出し合いながら決めていきたいと思っています。

個人的には「エネルギー政策」「雇用・新卒採用政策」「学校教育」「地域コミュニティ連携の促進」などが今思いついていますが、これはみなさんと考えていきたいと思っています。

まずは少人数で一つのテーマを取り上げ真剣に研究をし、blog や facebook などでも情報を発信していきたいと思っています。

(例：エネルギーの研究結果や、新卒一括採用のシステム図など)

徐々に参加者が増え、研究の質が高まり、ワークショップの質が高まってくると、いずれ閾値を超えて、政治家や経団連、官僚、などにも参加いただけるようになっていくと、社会変革の大きな力になると信じています。

主旨にご賛同いただき「一緒に研究・発信・実践をしていこう」と思って頂ける方はご連絡ください。

関わり方については、事務局、一参加メンバーなど、多様な関わり方があってよいと思いますので、一緒に考えさせていただければと思います。

* * *

いかがでしたでしょうか？実は僕もこのお手紙をいただけた一人です。

すぐに、できることはしたいと申し出て今にいたります。

今このプロジェクトはメンバーが11人にもなり、最初の手紙に書いてあったものももちろん進んでいますが、それだけではなく、「みんな違ってみんないい」を体験できる場づくりをしたい、歴史を勉強したい！というメンバーの想いが支援される場として機能しはじめています。

それは、最初の自分がやりたいという想いだけではなく、本当に叶えたいもののためにそれが必要だと感じてそうになっている。そんな風を感じるのです。

これを、いや、それぞれやりたいことがあるのはわかるけど、「わーぶ」は僕がやりたかったことを実現する場だから！となっていないところが僕は素晴らしいと感じるのです。

◆ぜひ、やってみること

ぜひ、やってみること、を大切にしてください。
この本で書かれたことを鵜呑みにしないでください。

なぜなら、成功法則は人によって、環境によって、時と場合によって違うと考えているからです。目標を設定したほうがいい、という人がいます。また目標を決めないほうがいい、という人がいます。

どちらが正しいのでしょうか？

どちらも正しいのです。

決めたほうがうまくいく人もいれば、決めないほうがうまくいく人もいます。

また同じ人でも状況によって変わります。決めたほうがうまくいく時があれば、決めないほうがうまくいく時もあります。

なにか絶対的に正しいものがあるのではないかと考えるよりも、今の自分にはどれがぴったりフィットするんだろう？そんな観点で物事を見ることが大切なのではないかなと僕は思います^^。

《コラム4：クレドを持つ》

みなさんは、「伝説のホテル」をご存知ですか？

伝説のホテルは、鶴岡秀子さんがプレゼン大会で優勝して実際に建設プロジェクトが進んでいるホテルです。

鶴岡さんは、ホテルで働いた経験は全くありませんでした。

知識も人脈もゼロの状態でのこのプロジェクトは始まりました。

しかし、彼女の想いに共感した人々が、一人、また一人と増えていき、一緒に活動する仲間、支援者が大勢集まり、ついには、本当にホテルが建設されることになったのです。

彼女が想いを語った映像をご覧くださいとわかるのですが、ビジョンが明確であることがわかります。

また、彼女一人の幸せでなく、つながる人みんなの幸せを願った
想いになっていることがわかります。

また、行動指針として「7つの教え」というもの鶴岡さんは定めていま
す。***

I) 自然に感謝し、その偉大さを受け入れること。

II) 常にエネルギーを充電しつづけ、いつでも分かち合うこと

III) 出会うこと起こること全てに意味を見出し、
発展させること。

IV) 世界が変わるのを待つのではなく、
自分が変わることで世界を変えようとする事。

V) 違いを尊重し、人との対話の中から新しい発見をすること

VII) 人を心から信用し、信頼させる自分になること

VIII) どんな時も、すぐに気持ちで恩返しすること

この7つの教えのような行動指針を、「クレド」と呼んでいます。

クレドを持つと、様々なメリットがあります。

- ・ブレない人になる。
- ・悩みが少ない人になる。

- ・印象的な人になれる。
- ・応援される人になる。
- ・決断できる人になれる。
- ・信頼される人になる。

他にもたくさんのメリットがあります。

そして何より、想いを叶える可能性が確実に高くなります。

想いを叶える“習慣”としてぜひ取り入れてほしいものです。
クレドについて詳しく知りたい方は、三枝までご連絡ください(^-^)

第3章 「さあ行動しよう」

本気の想いも持っていた、考え方もわかった。

後は行動あるのみ！

って、言われても・・・何から始めたらいいの？

そう思う人も多いはず。

ここでは、僕がよくやるパターンを書いてみますので参考にしてみてくださいね。

1. 想いを伝える。
↓
2. 応援してもらえたら嬉しい。と伝える。
↓
3. OKもらった人のリストを作る。
↓
4. ある程度応援者が集まったら、ミーティングをする。
↓
5. ミーティングではビジョン共有とシナリオプランニングをする。
↓
6. 後はチームと自分の感覚にお任せ。

ざっと書いてしまったので、少し物語風書いてみますね^^。

1. 想いを伝える。

まずは、あなたの想いを、伝えてみてください^^。

誰に？と迷ったら

最初は、この人なら応援してくれるかも^^。この人なら伝わるかな？と感じられる人に伝えてみてください^^。

「それ素敵ですね^^。」そう答えてくれる人が必ずいます。

そして、もしかしたら

「なにかできることがあればお手伝いしたいです^^。」

なんて嬉しいことを言ってくれるかもしれません^^。
そしたら一緒に喜びましょう（笑

そして、もし「素敵ですね」で終わってしまったら・・・

2. 応援してもらえたら嬉しい。と伝える。

相手にきちんと、

「・・・もし共感してくれるようだったら応援してもらえたら嬉しいな^^。」

と伝えてみましょう^^。

「もちろん^^。何かできることがあれば^^」

と帰ってくるかもしれません。

あるいは

「今は自分に余裕が無いから難しいけど、いつか手伝いたいよ」

という言葉が帰ってくるかもしれません。

いずれにしても応えてくれたことに感謝を伝えましょう。

※自然と感謝の言葉が出ているとは思いますが（笑

そして次がとてとても大切です。

3. OKもらえた人のリストを作る。

もちろん、その時点で手伝ってもらいたいことがあるのであればそれを伝えてみましょう^^。

でも最初のうちはそもそも、何を手伝ってもらいたいかも模索中かもしれません。

そんな時は、相手に

「じゃあ、いつか手伝ってほしいことができた時に連絡させてね^^」

と伝えて、その方の連絡先とお名前をエクセルでも紙でもよいのでリストにまとめておきましょう。

あなたのことを応援してくださる方リストです。

それは本当に宝物になります。

4. ある程度応援者が集まったら、ミーティングをする。

そしてある程度応援してくださる方が集まったら、一度集まれる人達で集まってみましょう。改めてみんなに想いを伝えたり、みんなの想いも聴いたり、じゃあどう実現するのかを一緒に考えてもらったり、役割を担ってもらったり、本当に想いに向かって動き始めるんだという実感を得たり、素晴らしい時間になることまちがいなしです^^。

5. ミーティングではビジョン共有とシナリオプランニングをする。

もし、集まってどう話したらいいかわからない。ということであればひとつの例をお伝えしておきますので参考にミーティングをしてみてくださいね^^。

1. お互いを知る。他己紹介の時間 1時間
2. 想いを聴いてもらう時間 15分
3. みんなの想いを聴く時間 30分
4. それぞれの想いを合わせた5年後の未来を描く時間 30分
5. その達成のためのシナリオ作り 30分
6. シナリオからやることを洗い出す時間 30分ぐらい
7. 役割分担を決める時間 20分ぐらい
8. 最後にみんなで感じたことをシェアする時間 20分ぐらい

こんな流れで時間を使ってみてはいかがでしょうか？

もっと詳しく知りたい場合はまた僕達に御相談くださいね^^。

6. 後はチームと自分の感覚にお任せ

みんなで共通の想いになり役割が決まったら後はどんどん進んでいきます（笑

この冊子に書いてないこともきっと誰か補完してくれるメンバーがいると思います^^。もし足りない部分があれば、いつでも御相談ください^^。

僕ができることはしたいと思います^^。

あなたの想いはきっと世界をよりよくすると思うから。

◆. 想いの伝え方

多くの方が自分の想いをどう伝えていいかわからない^^ ;と御相談下さいます。

これもひとつの案なのですが、僕がよくやる順番をお伝えしておきますので参考にしてください^^。

1. 自分がやりたいと思っていること。
2. それが広がると、どんな素敵な世界になっていくのか？
3. なぜそれをやりたいと思ったのか。
4. そこに至るまでの経緯や失敗談
5. 応援してもらえたら嬉しいです^^。
6. 今応援してもらえたら嬉しいこと

大きな流れは上記な感じですが、3, 4はなくても伝わる人には十分伝わりますが自分で把握しておくこと、自分の思いへの確信や自信が深まりますのでオススメです^^。

※具体例は巻末に記載していますので参考にしてみてくださいね^^。

《コラム5：なりたいなら、なるしかない》

- ・幸せになりたい。
- ・理想の自分になりたい。
- ・想いを叶えられる人になりたい。

であるならば、なりましょう（笑）
根性論ではありません。
なりたいならなるしかない。

そのためにも「なるんだ」と決めること。
「なれるんだ」と自分を信じること。

全てはそこから始まります。

「そんなあ、自分には難しそう…」という方。

私たちにご連絡ください(^-^)
心から応援しています。

◆最後に

いかがでしたでしょうか？

少しでも、あなたのお役に立てていたとしたら嬉しいです^^。

まだ気になる点などあれば、付録でよくある質問と答えもお付けしましたので、そちらも参考にしてみてくださいね^^。
最後にもう一度お伝えしますね^^。

あなたのその優しい想いは本当に素晴らしいし
応援され、叶っていただくだけの価値があります！

付録1：Q&A集

Q1)「想い」は強く願えば通じるものでしょうか？

相手が自分のその想いを感じてくれることはあるのでしょうか？

なるほど、と思った回答がありましたのでご紹介します。

A1)

言葉に出したり行動で示さない限り伝わりません。

当然相手との関係が一番左右しますが

例えば親子、親友、恋人、、などは何時間も、何年もの付き合いや行動、意思疎通を繰り返して来た上での

人間関係なので言葉や態度に示さなくても

相手の「想い」が想像や予想はつきます。

だから何年か会わなくても

親が子供を心配したり思いやる気持ちは

通じたり感じたりしますが

過去に何度も意思表示をして

言葉や態度に出した「過去」や「想い」があるからこそその結果です。

それに比べて他人、、それも一度も

会った事もない、、話した事もない、、

相手の情報（名前、顔、性別、出生地、家族構成など）を全く知らない

場合は誰に、何の目的で「想い」を伝えるのかさえ

不明確であり、不可能なことではないですか？

あなたが言う「人が人に対して、、」の設定は

どこまでを指すのかによるのではないですか？

同じ会社で働く同僚で、あなたは相手を知っているし

ある程度の情報は把握しているが、相手はあなたを全く知らない、、

などの関係はあなたが相手に対して「想い」を伝えることは

出来ますが、相手があなたに伝えることはありません。

お互いに認識し合って初めて伝えたい「何か」が生まれるのです。
もしあなたが誰かに恋をしていて
その相手に「想い」を伝える方法として
遠くから相手を見つめ、心の中で想いを念じても
そのあなたを見た相手はどう思うのでしょうか？
相手の機嫌やテンション、環境などさまざまな条件によって
あなたの行動は「気持ち悪い」、「怖い」など逆効果で「想い」が伝
わらない事もあり得るのです。言葉にだして、態度で示す、全ては
そこから始まるのではないのでしょうか？

出典：

http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q138566008

Q 2)

自分の“想い”がはっきりしません。

A 2)

まずはたくさんの人に想いを伝えてみましょう。

人に話すと相手からヒントを得られたり、同じような想いを持っている人と巡りあったりします。また、自分自身で「あ、これだ！」と気づくこともあります。

恐れずドンドン想いを人に伝えてみましょう。

Q 3)

自分が叶えたい“想い”を周りの人に反対されます。

A 3)

反対されると、自信がなくなってしまいますよね。

私もはじめはそうでした。でも反対する人がいるって、幸せなことな

のですよ。

自分自身の“想い”がどれほど本気なのか試してくれている人なんです。そしてまた反対してくれる人はあなたのことを大切にしてくれている人でもあります。その人たちなりの優しさの表現なのです。

だからと言って、反対ばかりされる環境では辛いもの。

私たちのコミュニティは、反対する人はいません。

むしろ、あなたのことを心から応援してくれます。

私たちと一緒に想いを叶えていきませんか？

Q 4)

「想いを叶える 7 つの連鎖」を読んで、想いを実際に叶えられそう！と思いました。

もっと具体的にどう行動していけばいいか知りたいです。

A 4)

はい、今すぐ私たちにご連絡を(笑)

あなたの想いの告白をお待ちしております。

付録2：想いの伝え方の具体例

想いの伝え方の具体例として僕の想いを例にあげています。流れも含めて参考にしてもらえたら嬉しいです。

ハートフルコミュニティ

◆自分がやりたいと思っていること

世界には多くの悲しいことや考え無いといけないことがたくさんあります。

ちょっとあげただけでも

格差社会、アンフェアトレード、貧困問題、栄養不足、領土問題、チベット問題、拉致問題、独裁政権、中東、戦争、テロ、地雷、軍事基地、政治、核兵器、原発、再処理、放射能汚染、震災復興、災害対策、公害、薬物、毒物、エネルギー、環境問題、オゾン層破壊、温暖化、水質汚染、干ばつ、絶滅問題、資源争奪、食料不足、ゴミ、年金問題、ストリートチルドレン、スラム、ホームレス、福祉、介護、育児、少子化、差別、男女機会平等、いじめ、体罰、セクハラ、パワハラ、暴力団、麻薬、非行、税金使途不明、公共事業、談合、天下り、特殊法人、公団、国の借金、雇用、社会保障、外交、国連、NPO、宗教、お葬式、靈感商法、オレオレ詐欺、GDP、為替、投資、金利、金融、保険、輸出入、司法制度、死刑、拷問、犯罪、隠蔽、情報操作、食品偽装、建築偽装、添加物、合成化合物、雇用、就職制度、新卒問題、貴族、王族、皇族、農業、農協、土壌汚染、森林伐採、間伐、資本主義、

社会主義、共産主義、医療制度、延命治療、安楽死、脳死、人口問題、高齢化社会、介護福祉、警察、教育、性教育、中絶、エイズ、伝染病、献血、遺伝子組み換え、クローン、ネットセキュリティ、ハッキング、不正ダウンロード、海賊盤、特許、個人情報、電磁波、タバコ、ギャ

ンブル、言語、過疎、肥満、学力、ペット、外来種、動物殺処分、アレルギー

数え上げたらきりがありませんし
すべてを解決するには途方も無い時間やお金や人が必要なのだと思います。

それでも それらすべてを解決されていってほしい
そう願うのです。

そして 小さな力ではありますが 自分ができていることを
やっていきたいと思うのです。

そのためには、沢山のことが必要だと思っています。

でも実は、シンプルな解決策があるんじゃないかって
思っています。

それは、それぞれの想いが応援される仕組みをいっばーい
作ってしまうということです。

想いってというのは「誰かのために」「世界のために」なにかを
やりたいっていう気持ち

仕組みってというのは

例えば「ワンクリック募金」

これは 気持ちはあるけど なかなか行動できなかつた人達が
行動できるようになった素晴らしい仕組みです。

そして少しずつ意識が平和に向かっていく仕組みです。

例えば「**お金**」という仕組み

弊害もありますが、もともと物々交換で不便だった世の中を便利に
していった仕組みです。

例えば「**Web**」という仕組み

世界中どこへでも想いを配信できる仕組み

世の中はたくさんの仕組みができています。

そして 世の中にある いろんな 仕組みを組み合わせ、時には
無いものは生み出しながら、それぞれの想いが完璧に応援されちゃう
仕組みができあがったら・・・

きっと、こんな世界になっちゃう気がしませんか？

◆それが広がると、どんな素敵世界になっていくのか？

「飢餓を無くしたい」そういう想いを持った人同士がもっと簡単に
繋がり、お互いに協力しながら本当になくなるためのプランが数百
と生み出され、それぞれ失敗や成功をしながら より効果的な方法が
研究され実践されていく

気がつくと、後数年でなくなるね！という声が聞こえてくる。

「カンボジアに孤児院を立ていきたい」という想いが応援されて
寄付があつまり、運営のためのノウハウをもった人材が集まり、
現地で働く人が集まり、あっというまにカンボジアに孤児院が増え
た。

「ミャンマーにクリニックと菜園を建てたい」という想いが応援

されて、応援してもらうためにHPが有志によって作られ、
あつというまに応援者が集まり、設立費用・運営費用・運営する
お医者さん・事務の方・他の組織との連携、
いろんなものがあつというまに成立して、形作られミャンマーの
健康状態がどんどんよくなっていく

◆応援してもらえたら嬉しいです

もし、そんな大それたプロジェクトに少しでも興味を持って
くださったら一緒に歩いていけたら嬉しいです。

もちろん、あなたのペースでああなたの無理のないところでお願い
したいです。

小さなところからで大丈夫です。

◆今応援してもらえたら嬉しいこと

例えば、この本を見てただ何かを感じてくださることからで大丈夫
です。むしろそういうお気持ちを大切にしたいと考えています。

次に 応援してもらえたら嬉しいことを順番に書かせて頂きますので
ピンときたものをしていただけたら嬉しいです^^。

- 応援・共演メルマガにご登録下さい。
- こちら <http://goo.gl/RcAlw>
- HP制作を手伝ってください^^。
- 応援者の声を下さい。
- 寄付を下さい。
- 余った寄付の使い道を一緒に考えてください。

- 協賛してください。
- ブログにバナーを貼ってください。
- ツイッターで呟ってください。
- フェイスブックのいいねボタンを押してください。
- 取材をしてください。
- ブログの記事にしてください。
- ご友人にメールでお知らせ下さい。
- 共感する団体や企業をご紹介下さい。
- 一緒に仕組みを考えてください。
- 運営が続く方法を一緒に考えてください。
- 世界のためにと尽くしている団体・個人を応援してください。

付録3：みんなの素敵な想い 事例集

最後までお読みいただきありがとうございました。巻末になりますが、石丸弘の大好きな友達達に「あなたの想いを聞かせてください」と集めた事例集です。

あなたが自分の想いを語る時の参考に・・・

そして内容に共感したら是非メッセージしてみてください。

みんなの想いが繋がったら、それが何よりの幸せです。

【西園寺由佳ちゃんの想い】

<https://www.facebook.com/yuka.saionji>



私は今、“ギフト経済”というものを自分の周りから少しづつ増やしていけたらと願っています。ギフト経済とは何か？

取る、取る、をベースに出来ている今の消費の経済のあり方でなく、捧げる事をベースで経済が動いてしまったら？それを実際に行ってしまうのがギフト経済なのです。自分が出来る事を他の誰かに捧げる。それが循環して経済が回って行くあり方なのです。

でもこれは夢物語ではなく、実際アメリカで実現している人がいるのです。サービススペースという団体を立ち上げた、ニッポン・メータさんです。彼は自分の能力であるITを使って、無償でホームレス施設やNPOのウェブサイトと友達と4人で作りはじめました。その彼の無償の優しさの行為に触れた人はその感謝をまた別の優しさを形にし、それにまた多くの人たちが共感して、と。5年後その4人組は100万人以上のネットワークになり、皆が優しさでつながり、自分が出来る事を他の誰かに無償でし、年間1億以上の経済をその仕組みで動かしてしまっているのです。

私はなぜこのあり方を日本に広めたいかと言うと、同じ10億が動いている事実は変わらないのですが、自分のために消費するのと、他の誰かに何かを捧げるのとではその中の人間関係のつながりと喜び度が全く変わってきます。自分の事を思い行動し続ける仲間と、相手を思

い行動し続ける仲間では、そのグループの関係性や質は全く違うものになっていきます。今、こういうつながりや、あり方というのが日本でも求められていると思います。

このギフト経済の一つの実験として“カルマキッチン”というものがあります。優しさで経済を回すレストランなのです。通常のレストランの定休日を使って、一週間に一回だけ開催されるそのレストランでは、ご飯を食べるとお会計が0円と言われるのです。見知らぬ人たちの優しさが形になって提供されているのです。ボランティアが働き、前のお客様が次の人への優しさとしてお金を残していく。その優しさの循環の場がカルマキッチンなのです。無償の優しさに包まれるその場は、不思議な出逢いや、幸せがそこら中で生まれるのです。

違いは自分の為に消費されているのでなく、見知らぬ次の人を思ってお金が動いている事。それが続いているという事は、優しさが循環している事になり、その空間は感謝と安心と喜びがベースになっているのです。

このカルマキッチンを日本に持ってきたくて3年間色々な人に話していました。でも、なかなか形にならず、なかなか共感してもらえない事に孤独感を感じていました。必死にやりたいと思っても、自分自身も一人でどこからはじめていいのか分かりませんでした。

でも、自分の信じる事を言い続けていたら、それに本当に共振する仲間に出会えてきました。その仲間探しまでが本当に時間がかかってしまいましたが、チームが出来たら全てが進み始めました。3年間一人で思い続けてた夢は8人のチームになった時、約4ヶ月でそれが形になりました。カルマキッチン日本版の第一回が開催されたのです。



第一回カルマキッチンチーム

この事で二つの事を学びました。一つは自分の夢を語り続ける事。そして、必ずその思いに共振してくれる人はいつか見つかるという事でした。私は3年間かかりましたが、最高にチームに出会う為の、そして自分の夢を語り続ける大切な時間でした。

二つ目は、思いは必ず叶う。でも、その思いとは、一番良い時期に、一番良いタイミングで生まれてくるのだと教えてもらいました。焦って叶えるのではなく、自然と生まれるベストタイミングを待つ事が重要という事でした。

これからも、カルマキッチンを定期的に行っていきたいですし、ギフト経済というあり方を深め、広めていきたいと思っています。もし少しでも興味を持って頂けたら是非一緒に仲間になってください。

【NPO 法人ブラスト・ビート代表 松浦 貴昌さんの想い】

<http://blastbeat.jp/>

<https://www.facebook.com/takamasa.matsuura>

1. 自分がやりたいと思っていること。

恩送り、優しさを分かち合える活動や団体を応援する。
また、その実践として、NPO ブラストビートを広げる。



2. それ広がると、どんな素敵な世界になっていくのか？

一人ひとりが価値観を大事に、自分らしく生きれる社会や世界ができる。溢れる幸せは他の人にお裾分けでき、その優しさと感謝の繋がりが広がっていく。

3. なぜそれをやりたいと思ったのか。

私たち一人ひとりには、違う経験をし、様々な人生を歩んできている。一人ひとりには世の中に必要な存在で、かけがえのない存在です。

なのに、どうして私たちは、他人と比較し、他人からの評価を気にして、自分の価値観を大切に、自分らしく生きることを苦手としているのでしょうか？

その歪みが、社会問題として現れているものがたくさんあると思います。

自分を大きく見せる必要も、強くある必要もないのです。
自分の価値観を大切に、自分らしく生きるお手伝いをしたいと思いました。

4. そこに至るまでの経緯や失敗談

私の人生は波瀾万丈、困難だらけでした。
しかし、自分らしさだけは大切にしてきたのです。
失敗体験、挫折を糧にするにも、自分らしさ、が大切だと痛感する人生でした。

もし同じところに意識を持っていたら、
一緒にいろいろアクションしていきましょう！優しさの恩送りを一緒に。



ブラストビート参加者

【石川英明 さんの想い】

<https://www.facebook.com/profile.php?id=1161183366>



1. 自分がやりたいと思っていること。

私は、今やりたいこと、実現したいことがたくさんあります。

最終的には、地球上の生命が、誰しものが楽しく幸せな日々を過ごす、
実現したいのはもちろんそんな世界です。

自分自身の興味の強さや、持ち味を発揮できる場所として、
具体的には、今取り掛かっている、取り掛かろうとしていることは
以下のようなものがあります。

- ・ 全国の就活生向けのプログラム（営利事業）
- ・ 「無知を取り払う」ことをテーマにした研究&発信活動
エネルギー、防衛、財政などの勉強をする活動
- ・ 大学1年生向けのキャリア観醸成プログラム
- ・ 企業向け採用哲学啓蒙活動
- ・ 友人の「次世代型労働モデル研究会」の支援
- ・ 友人の「ソーシャルリーダーの集い（仮）」の支援

全てについて書くことは難しいので、今真っ先にやろうとしている
研究活動について書かせていただきます。

この研究活動は例えば「本当に原発を止めるべきなのか？
止めるとしたらどんな段階で止めればよいか？
止めたとして、私たちのライフスタイルはどうなるのか？
例えば、火力発電の増加による Co2 増加はどうするのか？
経済活動への影響はどう考えるのか？本当に私たちはどの政策を選ぶ
のか？」

といったことに、選挙権を持つ市民として、持論を述べられるよう
になりたい、

そういう想いから、活動をスタートしようとしています。

＞ 2. それが広がると、どんな素敵な世界になっていくのか？

私たちが日頃、マイカーに乗る、電車に乗る、コンビニでモノを買う、八百屋でモノを買う、ある会社のモノを買う、ある会社のモノは買わない、そういった活動の影響範囲を知り、影響力を知ること、私たちは、実現したい社会を実現していく力になれると思っています。

＞ 3. なぜそれをやりたいと思ったのか。

私は3.11があって、福島原発の事故があって、自分の無知さ加減を痛感させられました。なぜ、福島に原発があるのか、なぜコンセントを差せば電気を使えるのか、私の暮らしは何によって支えられているのか、何もわかつちやいない自分に愕然としました。
(それなりに世の中のことを分かったつもりになっていた 32 歳でした)

なぜ、沖縄に基地があるのか。なぜ、海外の農場に過酷な労働実態があるのか。
なぜ、貧困と虐待がなくなるのか。

それらに無関心で、放置していることは、自分という人間をどういう人間だと規定するのか。
子や孫に誇れる生き方を自分はしているだろうか？

そんなことが、からだ中を駆け巡って、
そうだ、少しずつでもいい、自分のやれることを、やりたいと思える範囲でいいから
やっていこう。そう思ってスタートしてきました。

＞ 4. そこに至るまでの経緯や失敗談
最初に、自分の信頼する人たちにメールを書きました。

真剣に。手紙のように。
そうしたら、二人の人が一緒にやろうと言ってくれました。
3人で始めた活動は、すぐに4人になりました。

4人で、まずはワークショップをやってみましょうということになりました。

いいからひとまずやってみようよと。
ワークショップには30人ほどの方がいらしてくださいました。
ワークショップをやったら、不定期のミーティングに参加する人は7人にもなりました。

facebookの普及もあって、今は、志を共有できる人たちと、
本当に多くの、素晴らしいつながりを持っていると思います。
それぞれの人々が、それぞれの人々の興味や持ち味を活かして、
素晴らしい活動をたくさんされています。

もし、あなたの興味関心が私と近いところがあれば、
一緒に何かできればなと思います。
興味関心が近くても、別行動がよければそれもいいと思います。
あなたのに周りに、私のやろうとしていることに興味がありそうな方がいたら、
ご紹介いただけたらそれもとても有難いことです。

これを読んでくださったあなた自身が、
あなた自身の素晴らしいエネルギーを解放して、
あなたらしい持ち味の発揮の仕方をして、
素晴らしい時間を過ごされていくことを、心よりお祈りしています。
お読みくださってありがとうございました。

【多田 あゆみさんの想い】

<https://www.facebook.com/ayumi.tada.5>

<http://u-fufu.org/>



1. 自分がやりたいと思っていること。

自らの選択で幸せになれることを多くの人に気づいてもらいたい。

女性は生まれてから一生みんな「華」で、女性が笑うだけで家庭でも職場でも場が明るくなる。そんな笑顔の女性が社会を明るく照らし、結果、世界平和につながると信じている。

そのためのきっかけツールとしてフリーペーパーと座談会イベントを開催。ほかにも保育所やカフェ、コミュニティから村づくりまでイイものを広めていくこと。

そしてゆくゆくは、子育てママや、被災地・過疎地の方がお小遣いを稼げるような仕組みとツールを作ること。

2. それが広がると、どんな素敵な世界になっていくのか？

みんなの笑顔から世界平和が実現

3. なぜそれをやりたいと思ったのか。

半ママとして、6年間、妹の子どもの母親代わりをして、子どもから感謝や無償の愛などたくさんのことを教わった。

被災地にボランティアに行ったことで、大切な人を毎日もったいないほど愛することを教わった。

こんな素晴らしいことをたくさんの人に気づいてもらいたいと思った。

4. そこに至るまでの経緯や失敗談

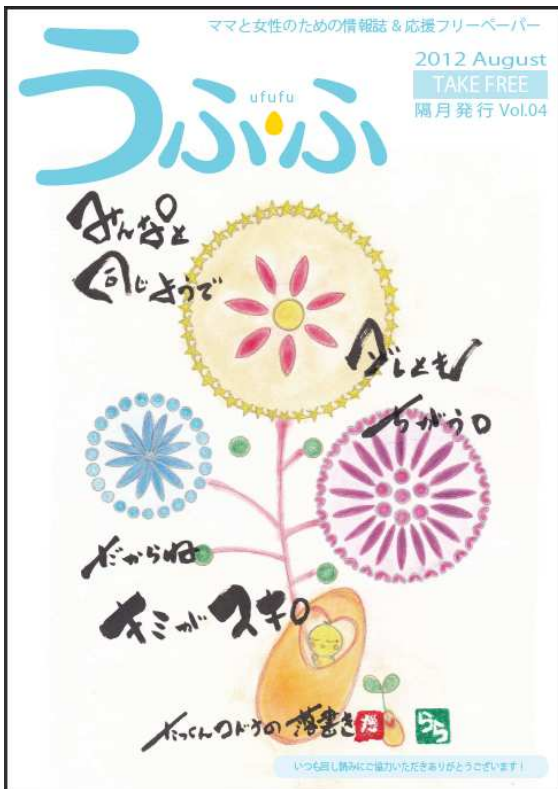
まだまだ実働して半年。経営経験もなく、初めてのことばかりで、すべての人を信じすぎてうっかり騙されることもありました。

全ては完ぺきなタイミングで訪れると信じていますので、ステップアップに必要な経験なのだ和理解しています。

成長段階ですので、応援やご協力いただけますと大変うれしいです

(^^)

5. 今応援してもらえたら嬉しいこと
 フリーペーパーへご賛同・協賛いただける方、設置や配布にご協力いただけるカフェやイベント、「大人に騙されない座談会」に参加してくださる方、または素敵な情報をお持ちの講師などなど。得意な分野でマッチすることがございましたら、応援いただけると幸いです。どうぞよろしく願いいたします。



【フリーランスの保育士 小竹めぐみさんの想い】

→ <https://www.facebook.com/megumi.kotake.5>

1. やりたいと思っていること。

親・教職員のこころ育成・人間教育事業。
大人の瞳を輝かせるお手伝い。

2. それが広がると、どんな素敵な世界になっていくのか？

そんな大人の背中を見て子どもが育ち、
丁寧生きる人が増え、愛が循環した世界になる。
物、食、親、友達、他人、自分自身に対する愛が、きちんと循環する。

3. なぜそれをやりたいと思ったのか。

子どもたちと長い時間を一緒に過ごす大人は、特に心が豊かである必要があると感じたため。

自分にさえ愛のない、生きる気力があまりない大人と毎日いる子ども
自分にはもちろん、愛にあふれ生きる活力に満ちた大人と毎日いる子ども。

この差はあまりに大きいと、どちらのケースにも出会い感じた。

4. そこに至るまでの経緯や失敗談

初めての卒園生を送り出した後、その子たちに対して自分が出来ることは、もう終わったと思って涙した。（一度は）

しかし、今後の教育や出会う大人により、大切な卒園生たちの翼（可能性）が折れたり小さくなってしまったら嫌だ！という大きな思いから園を超えて活動していく決意を固めた。パートナーと出会い、「オトナノセナカ」を立ち上げるが、正反対の性格の二人であったため、少しづつズレが生じていく。

しかし、逆に互いの強みを活かしそれぞれ別のフィールドでも活動を始めて子どもたちの未来のために全力を尽くそうと堅く誓い合う。

子どもたちの未来のために、今大人に出来ることは。

自分自身が夢を持ち続けること。
自分を、相手を、明日を、ただひたすら信じること。
自分の周りのあらゆるものに、愛を抱き続けること。
そしてそれらをきちんと表現（アクション）すること。
だと思っております。

5. 今応援してもらえたら嬉しいこと
8月18日に行う幼児教育コレクション。
→ <http://goo.gl/Mt4Dr>

「生きることへの熱を上げる」活動をする同士が増えて欲しい。
一人でも多くの方が、自分の生に感謝し笑顔で生きられることにつな
げていきましょう。

【菅原 和利さんの想い】

<https://www.facebook.com/kazutoshi.sugawara>

1. 自分がやりたいと思っていること。
人が一生豊かになり続けることが出来る仕組みづくり
です。
その中でも今は「シェアヴィレッジ」というのをやって
います。



「シェアヴィレッジ」とは、東京の奥座敷「奥多摩」が故郷になるサ
ービスです。共有別荘を拠点として、地域と都市を結び、お互いが元
気になるコミュニティを提供します。

2. それが広がると、どんな素敵な世界になっていくのか？

「シェアヴィレッジ」を通して、ありのままの自分をさらけ出し、人
とつながることが出来るようになります。その仕組みが他地域に派生
することで地方地域から社会全体が本当に豊かな社会が創られていき
ます。

3. なぜそれをやりたいと思ったのか。

物心ついた時、人と初めて接した時に「なぜこの人の心がみえないんだろう？」という違和感を胸に抱き、その違和感を解決した世の中を創りたいと願っていました。

4. そこに至るまでの経緯や失敗談

シェアヴィレッジのいくら事業計画書を描いてみても、実際の間を運営してみなければわからない課題がたくさんありました。

現在 A プランで進めてきたビジネスモデルの欠点がかかなりあり、課題をひとつひとつ解決しながらビジネスモデルをブラッシュアップした B プランを鋭意作成中です。

壁にぶつかっても軌道修正を繰り返しながら前に進んでいく力と、壁を突破する力を交互に繰り返しながら進んでいます。

5. 今応援してもらえたら嬉しいこと

下記の記事を読んでまずは知ってもらえたら嬉しいです。

※greenz 記事 http://greenz.jp/2012/06/15/okutama_sharevillage/

◇著者プロフィール

石丸 弘

生年月日：1977年7月8日

出身地：東京都豊島区北池袋

現住所：神奈川県横浜市港北区大倉山



職業：

Web マーケティングコンサルタント

組織コーディネーター

ソーシャルグッドコーディネーター

現在、「働く時間・場所・給与」全部自分たちで決めよう！
という新しい概念の 株式会社びりかんに参加しています。

仕事は Web マーケティングコンサルタント・組織コーディネーター
をしています。

Web マーケティングについては、「売りたい」商品が「売れる」仕組み
を作るために、コンセプトづくりから、ホームページ作成、広告の運
用まで売上があがるために全てを代行&コンサルティング。

組織コーディネーターは、「こんな組織に」という社長や幹部、
スタッフの想いを実現するために、組織コンサルタントの方とタッグ
を組んでそのために、何をどんな手順で行なっていけば良いのかを
サポートしています。

必要であれば、研修・ワークショップや会議体・会議の設計、
ファシリテートコーチング、カウンセリングまでなんでも行います。

仕事を週 2 日程度で行い、残りの時間を家事、育児にそしてソーシャ
ルグッドのサポートとして、個人の想いや、NPO、企業の CSR の支援を
行なっています。

三枝 優子 (Saegusa Yuko)
生年月日：1986年7月17日
東京八王子出身



社会起業家コミュニティ代表
ソーシャルアントレプランナー

運営サイトにて、ソーシャルビジネス、
企画、集客、マーケティングや話題のニュースなど、
お役立ち情報を毎日発信しております。

企画創造でお困りの方、アナタの力になる自身があります。
お気軽にお問い合わせください^^

Facebook：<https://www.facebook.com/yuko.saegusa>

運営サイト：<http://ideaplanet.jp/>